

議会報告会での要望・意見に関する事業等の進捗状況調査表

課等の名称

長寿課

項目	塩尻東地区 NO.1	社会福祉センターの立替と今後の重油回収及び土壌改良					
議会報告会での要望・意見	内容	社会福祉センターの老朽化の問題で、重油漏れも未だ未回収である。市の説明では、改築はせず、継続的に対応していくとのことだが、今まで回収のために5,000万くらいかかっていると聞くと、優先順位というものがあるだろう。そのままにして、新たな無駄なものを作るのか。					
担当部課での対応状況	企画課(地域づくり係)	地元からの要望	1	あり	時期	年度	
			2	なし	調査項目にないため不明		
	担当課	1 把握していない	1	今後実施可能	実施時期	年度	
			2	今後実施は困難	具体的な理由	別欄へご記入ください	
		2 把握している	1	把握しているが未実施	具体的な理由	別欄へご記入ください	
			2	実施計画策定	時期	年度	
			3	予算措置	時期	25年度	
				予算額	7,316	千円	
			4	事業完了	時期	年度	月
				事業に要した額		千円	
5	次年度以降取組み予定						
関係法令・内部規程等 (関連法令があればご記入ください。)	関係法令						
	内部規程						
総合計画との関連 (総合計画との関連があればご記入ください。)	第 章 第 節 第 項 主な事業						
実施困難な理由 (障害となるもの等を具体的に ご記入ください。)	社会福祉センターは昭和51年建設以来老朽化が進んでいるのは御指摘のとおりですが、現在地における建替えは、当該地域が土砂災害警戒区域であることから、困難と考えております。一方入浴施設については、再開をのぞまれる市民の声もおききしながら送油管を屋外配管に改め再開したものです。						
その他 特記事項 (既に取組んでいる場合、どんな取組みをされているのか、また今後どのような取組みをされる予定があるかなどをご記入ください。)	社会福祉センター送油管の重油漏洩は、平成22年5月に発覚してから、センター周辺のボーリング等による土壌等調査を実施し、みどり湖への重油流出対策工事、湖岸における重油回収設備の設置工事、送油管配管工事等を実施しました。その後、重油回収設備による回収と湖岸等の経過観察、周辺の観測井戸による経過観察を行ってきました。 漏洩した重油の抜本的な対応は、建物の下に重油が留まっていることも考えられるため、観測井戸を含めた周辺の経過観察を継続しつつ、センターの閉鎖時期を含め、施設の今後について検討します。						